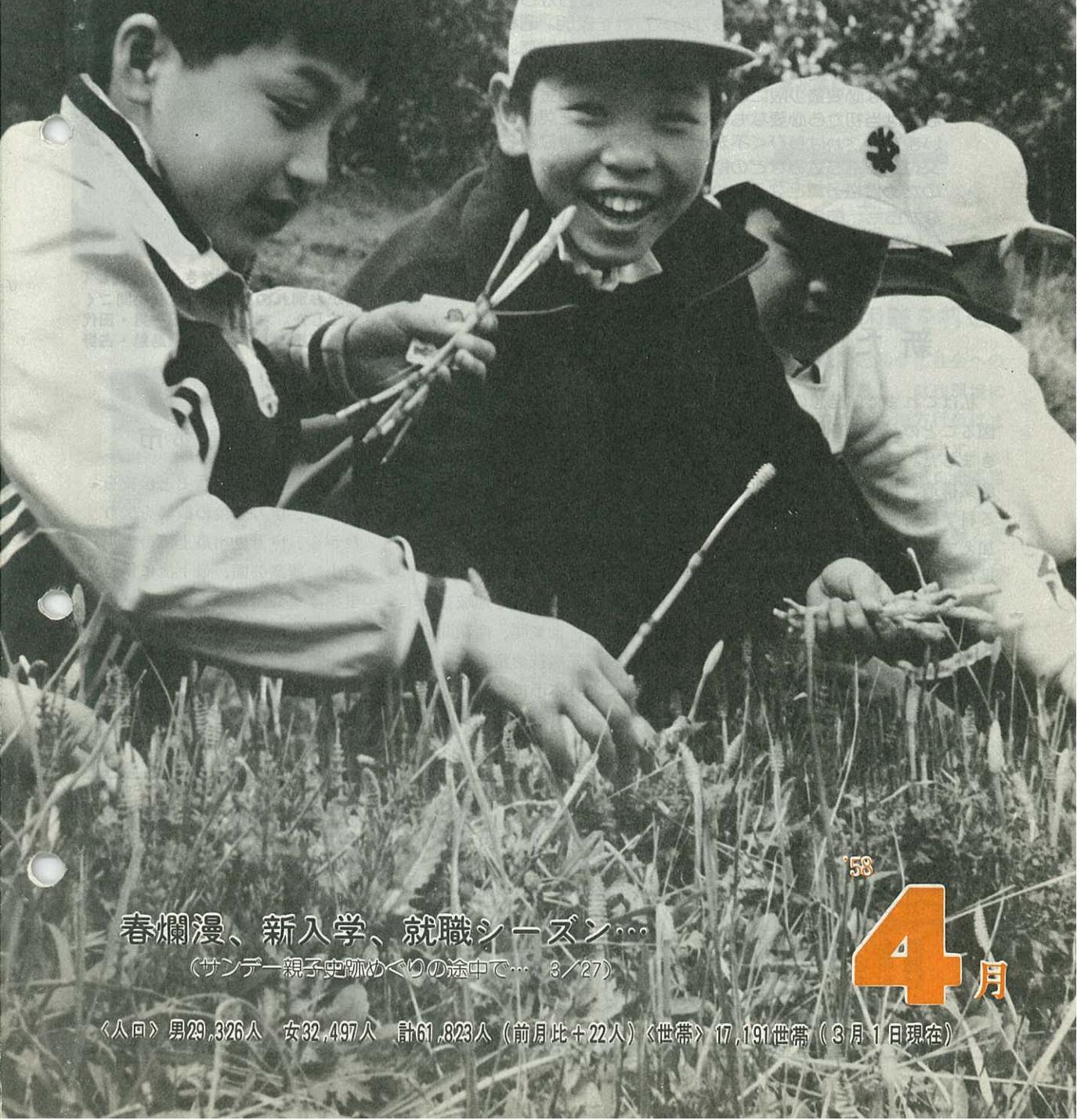


広報いまり

発行 昭和58年4月1日 伊万里市役所総務部秘書課 (☎③2111 ₩848) №350



58

春爛漫、新入学、就職シーズン…

(サンデー親子史跡めぐりの途中で… 3/27)

4
月

〈人口〉男29,326人 女32,497人 計61,823人 (前月比+22人) 〈世帯〉17,191世帯 (3月1日現在)

昭和58年度 重点施策

伝統と技術が調和したまちづくり

竹内市長所信を表明

昭和58年度第1回定例市議会は、3月3日から18日まで16日間開かれ、竹内市長が市政方針を表明。昭和58年度一般会計予算など36議案が審議可決されました。

新年度予算では、補助事業は継続的な事業を優先。単独事業は必要最少限にとどめ、県営事業負担金、補助金などは当初から必要なものを除いては計上を見合わせています。これは長びく不況と国の超緊縮予算による地方交付税の落ち込みなどの財源難、また県予算が知事選挙のため骨格予算となるためで、基本的には年間予算としながらも、前年度当初予算（骨格）より0.8/ パーセント少ない一般会計予算総額136億1,600万円と極めて厳しい予算編成となっています。

新たな発想の転換を

私はこれまで、発想の転換を図ることの必要性を申しあげてきました。低成長期に対応する産業構造、加速的な進歩をみせる科学技術、市民意識の変化、加えて国、地方を通じた財源不足などをみると、すべての面において新たな転換を図らなければならぬと思います。

技術集積都市

最近、新しい地域開発の考え方として、産業、学術、居住の

均衡ある都市づくり（テクノポリス）が全国のいくつかの都市で進められています。

九州電子金属（ＩＣ産業）の立地を契機にこの構想を本市なりに具現化したいと思います。

このための研究会をつくり、
その方向づけに立って地域技術
水準の向上、企業間、産業間の
技術連携、先端技術産業の人材
育成等により本市に合った技術
集積社会つくりを進めたいと考
えています。



▲今期で議員を辞められるみなさんの代表として瀬戸議員がお別れのあいさつ。長い間ごくろうさまでした。右から、前田一男・田代千之・中島恒雄・瀬戸貞治・副島勉・占野秀男議員

伝統産業都市

焼物の積出港、歴史と伝統を生かし、伊万里焼の振興を図りながら、伊万里川最上流の大川内山に藩窯公園、最下流に伊万里津歴史公園、さらに川北地区には文化福祉ゾーンを整備し、河川景観の改善や河畔公園などを含めて伊万里川沿いに伝統産業都市としての個性づくりを進めます。

臣賞を受賞し、その後もいろいろの工夫をして市民の体力づくりは引きつづき市政の重要な課題ですから、以上の三つをあわせると市政の重点に知・徳・体がそろうことになりました。

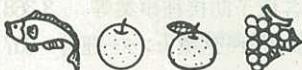
わたしはもう数年も前から社会総健康運動を提唱し、いまは社会自身が病気についているから先づ社会を健康にしなければならないといつてきましたが、知・徳・体が揃わなければ社会総健康運動はみのりません。

ただ「知」にはテクノプログラマー（知恵の広場）といふ表現があり、「体」には体力づくり日本一といふたい文句がついていますが青少年育成の「徳」にはキャラッチャフレーズがないのでこれは「せいら」を愛読くださる皆さんに、青少年育成を強力に実践する統一的な運動のたとえば「健やかな青少年の町、伊万里市」といったなにかいいキャラッチャフレーズを募集いたします。

すばらしい音感の伊万里八年度の市政の目標にしたく思います。

滞在型観光地へ

また、やき物観光やフルーツ観光に加えて山ノ寺、古窯跡などの史跡観光を生かし、厚生年金休暇センターと一緒にした滞在型観光地を形成していきたいと思います。



農産物の产地づくり

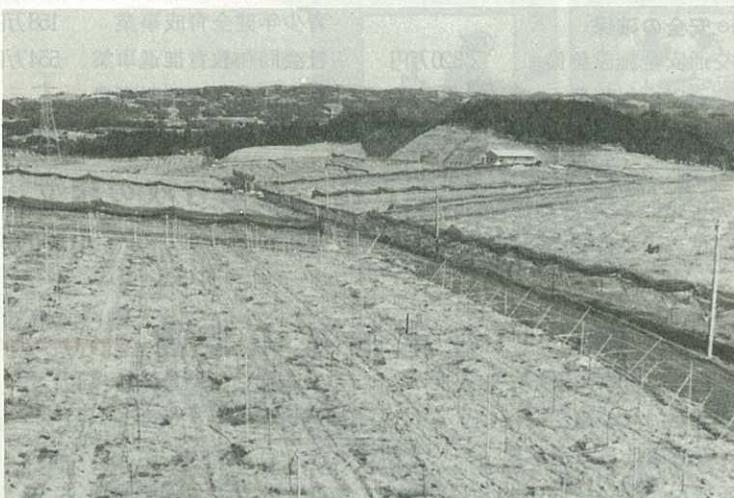
伊万里湾開発については、浦の崎地区の埋立計画、山代臨港道路、七ツ島二期計画などの事業を推進するとともに、九州横

断自動車道とのアクセス道路の整備や都市用水、農業用水及び治水対策を総合的に勘案した水資源対策を積極的に進めます。

また、農業については、国営総合農地開発事業を軸に本市の農業基盤整備の完成をめざして取り組み、転作等を含め新たな農産物対策とその受け皿として食品加工場の誘致によって特色ある产地づくりを進めます。



▲来春の開校に向け工事が進む大坪第2小学校



▲南波多町古里地区農地開発事業(錦光園12.9ha)。同町に13の集団梨園が造成されました。57年度13番目に完成したものです。

勇猛心で困難を打破

経済の低迷と高令化社会への移行、加えて厳しい財政環境にあり、これからの方行政はますます至難が予想されます。

人間は試練によってこそ本当の力を得、大きく伸びることを思うとき、その困難を試練と受けとめ、勇気をもって邁進する覚悟が必要であります。

市民と行政が一丸となった勇猛心によって、ふりかかる困難を打破し、市政の運営と市発展に大きな活路を開きたいと思います。

わたしは今年の年頭の挨拶で従来の伝統工芸都市つくりにあわせて、九州電子金属株式会社の進出を機会に高度技術集積都市つくりによるニュー・イマリ建設を表明しましたが、三月の定例市議会では青少年問題に質問が集中し、もはや一刻もゆるがせにできないことから、青少年の育成を中心には社会つくりのあらゆる施策を行い、市民の総力を結集する体制をつくることにしました。

これは去る一月市の交通対策協議会が交通事故抑止非常事態宣言をしたことに対する青少年問題の非常事態体制ともいべきもので、関連する組織や予算を統合し、しかももはや論議の時期ではないので、どこからでも実践を始めるもので、これから市の市政の最重点施策の一つになります。伊万里市は先に昭和五十二年体力づくり内閣総理大臣



主な施策

産業の振興

○農業近代化事業の推進

国営総合農地開発事業	4,852万円
農村給合整備事業	5,062万円
農地開発事業	7,070万円
小規模排水対策特別事業	2,525万円
小規模土地改良事業	2,500万円
新農業構造改善事業	2億4,833万円
土地改良総合整備事業	1億2,662万円

○林業の振興

林業構造改善事業	4,110万円
間伐促進総合対策事業	899万円
農林地崩壊防止事業	722万円
○水産の振興	
新沿岸漁業構造改善事業	6,888万円
波多津漁港修築事業	1億4,200万円

○商工業の振興

中小企業の育成	1億914万円
企業誘致の推進	263万円
技術集積推進事業	66万円
○観光の振興	

大川内山藩窯公園整備 2億1,551万円

都市環境の整備

○市街地の整備

新天町～江湖辻線街路事業 2,000万円

○公園緑地の整備事業

国見台公園整備事業 5,000万円
円造寺公園整備事業 1,000万円

○交通通信体系の整備

道路台帳の整備 6,593万円
市町村道整備事業 1億3,900万円



無リン洗いいや

洗たく石けんを使おう

臨時市町村道整備事業	1億1,400万円
過疎対策事業	7,900万円
地域経済振興対策事業	2億3,132万円
市単独道路整備事業	2,350万円
維持補修	2,000万円

社会環境の整備

○生活関連施設の整備

公共下水道事業 4億7,470万円

都市下水道事業 7,150万円

環境施設の整備 530万円

水道施設整備(松浦簡水拡張)2億1,268万円

○安全の確保

交通安全施設整備 2,320万円

交通安全対策費 481万円

消防北分署建設事業 6,033万円

防火水そう新設工事等 1,087万円

災害復旧事業(農地、農業用施設、

公共土木、鉱害復旧等) 8億4,675万円

児童手当の給付	1億5,786万円
保育料の減免	2,690万円
都市児童健全育成事業	107万円
心身障害児通園事業	73万円
母子福祉資金貸付	600万円
敬老祝金の支給	1,012万円
老人センター運営	3,070万円
勤労者福祉厚生資金預託	2,500万円

○健康の増進

各種予防接種事業等	3,368万円
休日急患医療センター運営	667万円
在宅当番医制事業等	571万円
老人健康診査事業	708万円

教育文化の振興

○学校教育の充実

大坪第2小学校建設事業 6億388万円

○社会教育の充実

青少年健全育成事業 158万円

社会同和教育推進事業 554万円

○文化財保護顕彰事業

古窯跡群詳細分布調査 200万円

自治行政の確立

地籍調査

1,710万円

新しい在宅福祉の案内

在宅福祉事業として58年度から新たに次の事業を行います。

△家庭奉仕員派遣事業

所得税がかからない世帯で、障害があつて日常生活を営むのに支障がある家庭に、家事、介護、相談、助言指導などのサービスを、無料にしていますが、所得税がかかる世帯についても58年度から一部負担で行うよう進めています。

△入浴車による巡回奉仕事業

ねたきり老人の方や重度心身障害者の方々が自分で、あるいは家族の力のみでは入浴すること

ができない状態にある場合。定期的に入浴車を巡回し入浴サービスを行います。

△ねたきり老人保護事業

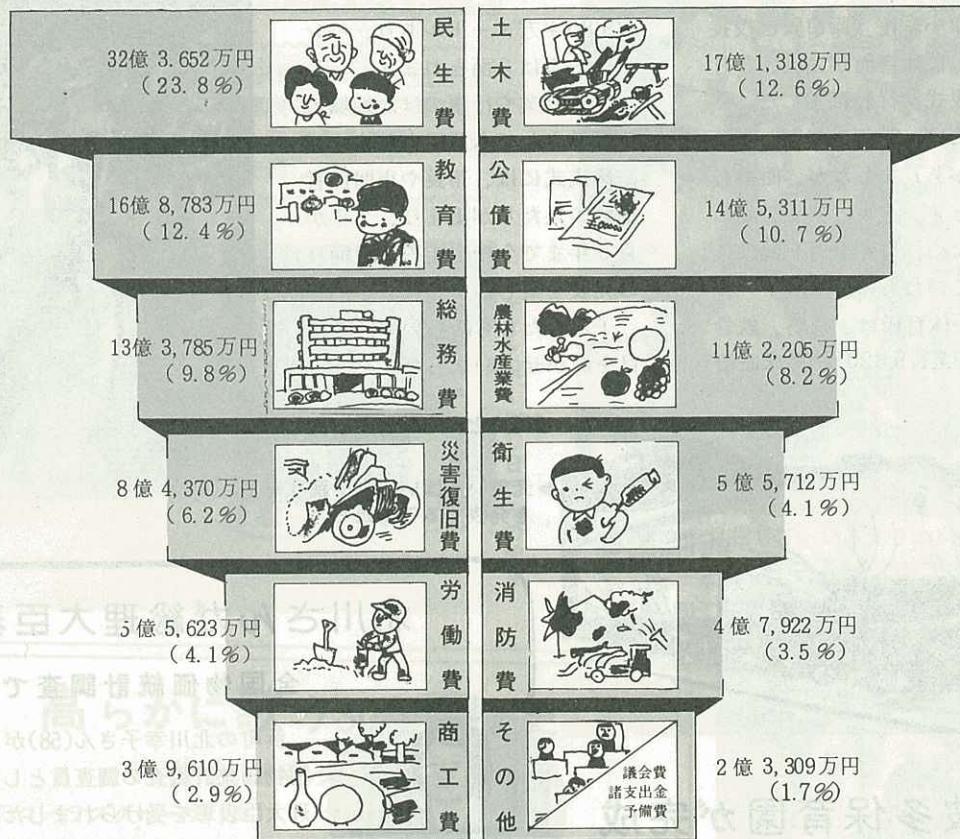
ねたきり老人を介護している家族の人が疾病または冠婚葬祭などで一時的(最長7日間)に居宅で介護ができない場合に、老人を特別養護老人ホームに預って介護する制度です。

対象者は、65歳以上の方で在宅ねたきりの人になります。

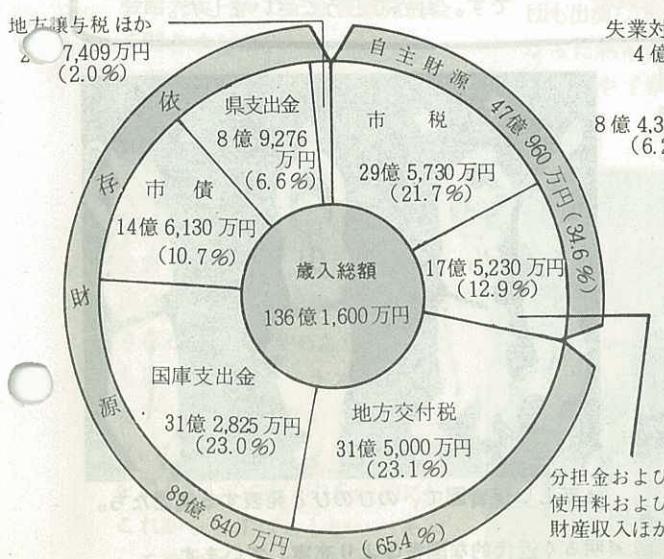
*詳しくは、市役所福祉事務所にお問い合わせください。

昭和58年度 一般会計予算

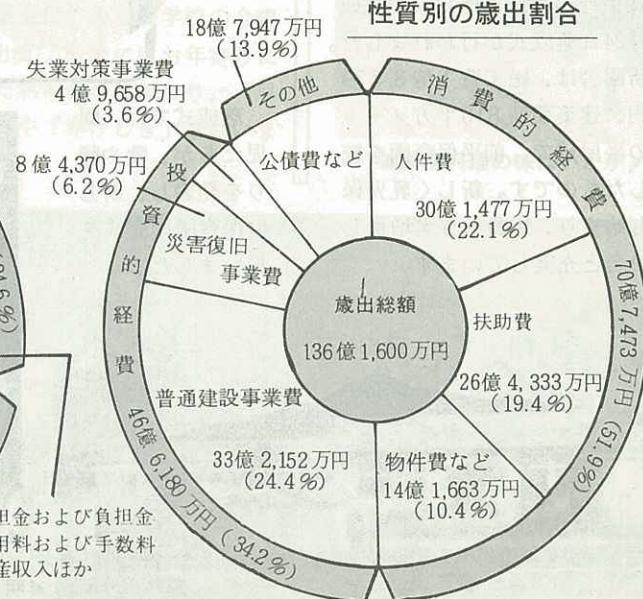
予算総額 136億1,600万円



財源別の歳入割合



性質別の歳出割合



波多津小学校に 近代的な体育館

波多津小学校（原口辰巳校長184人）に体育館が完成、3月6日落成式が行われました。

同校には、32年にできた木造の講堂がありました。面積も400平方メートルと狭く、老朽化したため、昨年9月、建設に着手していました。

新しい体育館は、鉄筋、鉄骨造り、総事業費9,320万円で床面積

は680平方メートルあり、バレーコートは2面とれます。

学校授業や行事のほか地域の体育館としても活用されます。

落成式には、市長や市関係者地区の人たちが集まり、1年から6年まで全校生徒の歌や踊りの発表を楽しみました。

子どもたちも新しい体育館に目を輝かせていました。

▲広々とした体育館が完成



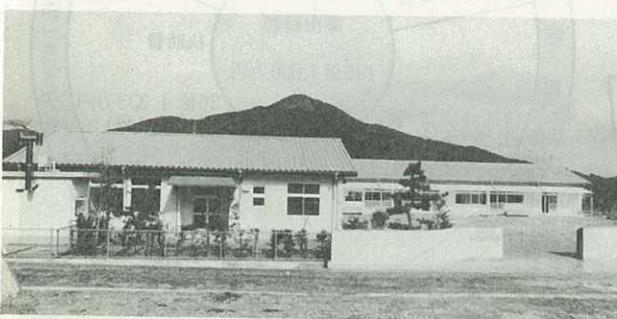
▶元気いっぱいに歌や踊りを発表する子供たち。



南波多保育園が完成

井手野の南波多保育園が完成3月24日落成式が行われました。

新園舎は、総工費1億3,379万円、建築面積810平方メートルの平屋建で、前平保育園を統合したものです。新しく乳児保育も始まり、定員も5名増員し120名と充実しています。



落成式では、園児たちが、歌や踊りを発表し、新しい保育園の完成を祝いました。



北川さんが総理大臣表彰

全国物価統計調査で

浜町の北川幸子さん(58)が、57年全国物価統計調査の調査員として内閣総理大臣表彰を受けられました。北川さんは昭和40年以来の統計調査のベテランで、これまでの功績が認められたものです。おめでとうございました。



▲新しい保育園で、のびのびと発表する園児たち。

◀明るく近代的な園舎はより充実しています。

*なお、建設費の一部は、年金積立金還元融資金(4,380万円)になります。このほか同資金では、大川中学校運動場照明施設、松浦簡易水道施設や郵便局の簡易保険から滝野診療所(700万円)、市道府招~牟田線(750万円)が融資を受けました。

春・体力・健康

3月13日に健康大会、20日体力づくり大会が国見台公園で開かれました。健康な心と体で豊かな町づくりをめざして1,000人をこえる市民が参加して、楽しい有意義な一日を過しました。



ゲートボールで日ごろの腕を



▲ポイントを目指して、いざオリエンテーリングへ

高らかに歌う30年の歴史

声伸会が音楽発表会

市民のコーラスグループ「声伸会」（池田末子会長）が、発足30周年を迎え、2月27日市民会館大ホールで記念音楽発表会を開きました。

声伸会は、約50人の会員で、年齢も仕事もさまざま。週に1、2度の練習を続けています。

池田先生は、昨年、音楽の文化功労賞である第1回県音楽協会賞も受けられ、文字どおり市民合唱団の育ての親ともいいうべき存在。「もうやめようかと何度も思ったが、コーラスは砂漠のオアシス、やめないでと励まされ、なんとかやってきた。音楽を通して心のつながりを大切にしこれからもすばらしいハーモニーを育てていきたい」と話され

ています。

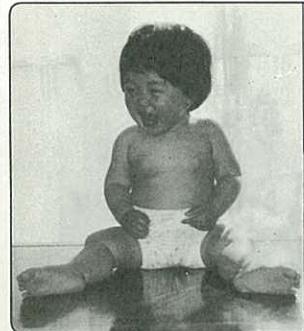
発表会は、交響詩「伊万里」の合唱をはじめ看護学校の合唱団も出演し、最後にはお年寄りになった熟年OBも加わり、「早春賦」や「冬げしき」を歌いました。



▲減塩料理の味はいかが？



▲フィナーレは池田先生の指揮で全員大合唱。



わが家のアイドル

郷 民子ちゃん(1.2歳)

勝昭、千代子さんの長女。

歩き始めたばかりでお散歩が大好き。活発なお子さんですが、優しい子に育ってね、とお母さん。(木須西)



ほほえみ

手のひらのぬくもりを



◀ 作品展はすばらしいものばかり

アビリンピックに出場して

二里町川東 前田敬子さん(26)



私は昨年10月、千葉市の中央技術開発センターで開催された第10回アビリンピックに和裁の部で出場させていただきました。

みなさんは、アビリンピックという言葉を耳にされたことがありますか。これは、全国身体障害者技能競技大会のことです。

毎年行われるこの大会は、身体障害者の職業、能力の開発を促し、技能労働者として社会に

参加する自信と誇りを与え、広く社会の理解と認識を高め、雇用の促進と地位の向上を図るもので

アビリンピックに出場して、まず感じたことは、各県代表選手一人一人の自信に満ちた顔や明るさです。そして、会場の和

やかな雰囲気の中に人と人のすばらしい出逢い……。

まるで別天地に来たような感動と全国から集まってきた人々との交流をもてたことは、私の人生に大きな影響を与えてくれたと思います。やはり井の中の蛙ではだめだとつくづく感じ、↗



健康の窓

「ひとかき胃がん」

— 胃内視鏡検査 —

検査シリーズ 3

昔から胃の中を目で見たいということは、多くの医学者の夢でした。ここ30年来、光学機械の進歩のおかげで、極めて細いガラス繊維の束を使って、明るい光源で詳細に胃の中が観察できる胃ファイバースコープが開発されました。これは、観察するだけでなく、胃の粘膜を染色したり、その一部を鉗子でつまみとてガン細胞を検出したり

(胃生検)して、早期に胃ガンを発見し治療できるようになりました。

直径5ミリ未満を微小胃ガンといいますが、生検の結果、確かにガン細胞があったのに、切除した胃にガンが見つかりません。つまり生検鉗子の「ひとかき」で胃ガンをつまみとつまつたらしい。そこで「ひとかき胃がん」といわれています。

このように胃内視鏡は、微細な変化も見逃さない高い性能があり、日夜進歩しています。しかも直径1センチ以下の柔軟なもので、患者には苦痛を与えず何の危険もありません。

胃ガンの原因は、まだ解らない部分ばかりですが、その大部分は、胃の粘膜から発生します。

そこで胃ガンの早期発見、治療には、内視鏡検査が、X線と共に有力な検査法となります。

安心して進んで検査を受けてください。



ひろば

障害者対策講演会

何事にも積極的に参加することの大切さを知りました。(中略)

私たち障害者は、自立更正の道を自分で努力し、自分で切り開き、世の荒波を乗りきって生きて行くほかありません。親はいつまでも生きていてはくれません。それには何か技術を身につけることも大切ではないでしょうか。昔から芸は身を助けるといいますが、身についた技術があれば、りっぱに社会で働くことが出来ますし、社会も受け入れてくれるものだ、と思います。

どんなに障害の重い人でも残された機能がある以上、残存機能に適した職種を選び、その機能を十分に生かして社会に受け入れられるように努力し、頑張っていただきたいと思うのです。

こんなことを私が言えるのもアビリンピックに参加して、全国から集まった人の中にも重度の障害者が、りっぱな技術を身につけて一生懸命に生きている人たちに接して、あらためて自分を見つめなおす機会に恵まれたからだと思います。

もっと多くの障害者の人に、この大会を知ってもらい、私同様にすばらしい体験をしていただけたら、永い人生の良き思い出の一つにきっとなるはずです。

私もこの機会にめぐりあったことを感謝し、今後の私の生活に生かしていくつもりです。

私の仕事である和裁は、やは

三、なんにも見えず三十年
家族みんなに手をひかれ
せがれ夫婦や孫たちに
やさしく守られ幸せよ
長い年月あります

一、なんの因果か知らねども
生まれながらの夜盲症
泣いて暮らした十一年
夫や子供に支えられ

一、親をうらんで泣きました
なみの体格ないものを
できない農家にとつがされ
人の知らない苦労して

私はしあわせ
二里町内の馬場
前田ハシ(72歳)



大坪町柳井町
千恵子さん

(S35年生)

山善酒店の看板娘。特技の水泳はカッパのみで県体にも出場しました。料理の方は、料理学校でもっか特訓中。

＜好きな言葉＞一期一会

出会いを大切にしたいとか。

＜理想の男性像＞バイタリティのある人…酒ダルも持てない人は失格ですぞ。チャーミングで働き者のお嬢さんです。

り運針が基本です。初心を忘れずにもっともっと頑張って、努力を重ねていきたいと思っています。

編集部から

前田さんは、この大会で栃木県代表で写植部門に出場した新巻康夫さん(32)と出合いました。そして4月29日にめでたくゴールイン(結婚)されます。「新巻さんは友人も多く、苦労人で温かい人です」と胸を張って語る前田さん。

和裁部門では銅メダルを獲得しましたが、この出会いは、二人の人生の金メダルとなることでしょう。

今月の俳句・短歌

落のとうにも惜別や廬をたたむ
浪人の苦しみ越えて志望校に
合格かりし吾息の笑顔さわやか
陳内池伸子

松島町徳永寒灯
(三月福岡より帰郷)

いまり歴史散歩 その15

歴史を語るふるさとの森

昭和57年の初夏、市内柳井町白野川の工事現場で、川底の泥の中から巨大なクスの埋もれ木が見つかりました。

人間が住みつくようになるずっと以前から泥の中で眠り続けていたものと思われています。

縄文時代ごろまでは、伊万里地方の森は、シイ、タブ、カシクス、などの常緑広葉樹を中心とした照葉樹林だったのです。

おそらくはじめに書いた埋もれ木も、そのころ自然に倒れたクスの木が、大水で流されて海岸近くの泥の中に埋まったと推定されます。

このようなシイ、カシなどの森から木の実を採取して食用にしたり、森の中の動物を獲物にし、生活道具の刃物は腰岳からもってきた黒曜石を加工して使っていたのが、私たちの先祖です。西有田の坂の下遺跡からは、カシの実がたくさん見つかりま

郷土研究会 外園満喜男

した。唐津の菜畑遺跡からは、カシの木で作った農具が、そして他の場所から、舟も出了ました。このような私たちの先祖が創ってきました文化を照葉樹林文化と言われるようになりました。

有史時代に入ってからも仏像の彫刻にはクスが使われたり、最近発掘された奈良、山田寺の回廊にクスの柱が使われていることもわかりました。

いまでは照葉樹林の型は伊万里では青螺、牧山、腰岳の一部と東山代の山ノ寺付近など、わずかに残っています。

江戸中期、大川内山に藩窯が築かれたり、伊万里湾で塩が作られるようになり、燃料用としてこの森はくりかえし伐られました。そのため潜在自然生回復力(元の森の状態にもどる森の活力)が弱くなつて松の林が多くなりました。

大川内の一の瀬山や長浜の



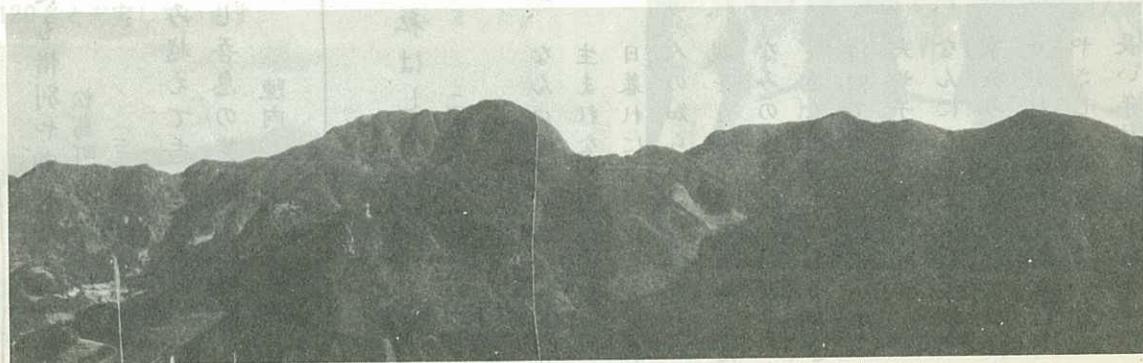
▲腰岳法塔さん周辺にシイ原生林のおもかげを残す(2/6)

「割り山」がそうです。

明治末期から伊万里に炭坑がふえて炭坑用の松坑木に使われた。最近松のザイ線虫という害虫の被害で松林も姿を消してきました。その代り杉やヒノキの林がふえています。

そのうえ住宅団地や、工場用地、果樹園や、畜産団地などで森はまだ少なくなります。

市内の古寺の境内、神社の鎮守の森、そんなところに、わずかに「ふるさとの森」のおもかげを残しています。そんな場所はみんなで大切に守りたいですね。



▲青蜻山から牧山を経て、腰の峠へ至るルート附近に残る天然林(2/6撮影)

いま伊万里で



▲老人趣味の作品展（3／24～25）

市役所ロビーでの作品展に陶芸・手芸・園芸の150点が展示、市民の人気を集めました。



▲「農魂碑」を除幕（3／19）

魅力ある山ろく農村をめざす南波多農協は、13集団ナシ園の完成を記念しナシ撰果場入口に「農魂碑」を建立しました。

▶松浦火力と公害防止協定（3／14）
市は、松浦火力発電所と環境保全協定を締結。内容は国の基準の3～10倍と厳しいものです。



▶障害者趣味の作品展（3／4～8）

第2回の作品展に250点が出品。養護学校生徒や障害者のみなさんのが力作が関心を集めました。



▲新入学児に交通安全ワッペン（2／23）

安田火災海上から新入学児982人全員に黄いワッペン（交通安全）が贈られました。

春宵一刻値千金

特別養護老人ホームくにみ
細石五月

♥うちのおばあちゃん♥

松浦小三年 池田文子さん



「ただいま」と学校から帰ると、「お帰りなさい」と元気なニコニコしたおばあちゃんの声がかえってきます。

お母さんがおつとめに出ているので、家ではおじいちゃんとおばあちゃんが、むかえてくれるので。

わたしは、おばあちゃんのわらい顔が一番すきです。おばあちゃんは、目をまるくして、顔

にしわをいっぱいだして、ゆかいにわらいます。

わたしはおばあちゃんから、いろんなことを習いました。字はきれいに書くんですよ。「あいさつは元気よくする。」などです。とくにあいさつは、小さいころからいわれていたので、だれにでも元気よくできます。こんなおばあちゃんにとつてもかんしゃしています。

母子・父子家庭のみなさんへ

乳幼児などいる母子または父子家庭の父母が、病気や事故にあい、養育に支障がある場合一時的に介護人を派遣する制度があるのをご存知ですか。

次の場合に該当する家庭は、早目に登録を申し出てください。

- 乳幼児（小学校以下の児童）を養育する家庭で介護を行う人を得ることがむつかしい家庭。

- 成人または、中学校を卒業し

た児童がいない家庭。

- 該当家庭は、所得制限があります。（基準は、児童扶養手当の受給者の所得制限額程度）

※詳しいことは、福祉事務所婦人児童係までお問い合わせください。
(☎③2111 内線 262)

献血にご協力を

健康なときお互が助け合いの心で献血し、万一の場合に備えましょう。

伊万里ライオンズクラブと青年会議所では4月14日にユニーク前駐車場で献血を行います。

同和教育シリーズ No.29

『聞く同和から語る同和へ』

市が同和教育に取組んで14年。同和対策事業とともに同和教育もある程度広まりと深まりをみましたが、巡回講座などでは『もう同和教育は分った』『いつまで同和教育を続けるのか』『地区が分散した方が解放は早いのではないか』などの言葉を今なお聞きます。

この言葉は、同和教育を表面のみ見ている方の言葉であって、同和教育が直接自分と関わっているのを深く考えていないのではないかと思います。

同和教育の認識を新にしていただ

くという意味で、去る2月3日、伊万里市社会同和教育推進大会を開催しました。

従来は講演を聞いたり、各分野からの意見発表があつたりということでしたが、今回は関係代表の方によるパネルディスカッションを行いました。

各代表の方の意見も貴重なものでしたが、約200名の参加者より質問や意見が活発に出て、熱心な討議が展開されました。

本大会は『聞く同和から、語る同和へ、そして実践へつながる同和

戸籍の手数料が改正

国の戸籍手数料の法令改正により、4月1日から戸籍謄抄本などの手数料が次のように改正されました。
(新)(旧)

- 戸籍の謄抄本1通 300円 200円
- 除籍、改製原戸籍〃 500円 300円
- 戸籍記載事項証明〃 200円 100円
- 除籍記載事項証明〃 300円 200円
- 届出、申請の受理証明 200円 100円

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談に応じます。

＜伊万里会場＞

- ▲日 時 4月19日(火)10時～15時
- ▲場 所 市役所市民相談室
- ▲担 当 多久島勝次氏

教育』というテーマにしました。

同和問題の本質は部落差別の解消にあるわけですが、私たちは日常生活の中で、人権軽視と侵害の言動をしていることが差別であることに気が付いていないのではないでしょうか。

同和教育は人権問題に関するものですから、部落問題は私たち一人一人に大きく関わっているわけです。

同和教育は聞いているだけではなかなか深まることができません。共に語ることにより理解を深め、納得し認識することができ、更に実践へとつなぐことができるのです。

皆さん、心の壁を開いて同和を語り、人権尊重、差別解消へ向けて認識を深めましょう。



市内施設めぐり募集中

昭和58年度第1回目の「市内施設めぐり」を行います。

参加希望の方は会費を添えて申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。（申込受付 4月1日～30日）

▲日時と集合場所 5月10日（火）8時15分 市民会館集合

▲募集人員と会費 90人 会費 2,000円

▲視察施設 大川内山・市役所・伊万里工業団地・竹の古場

大平山・名村造船所など。

▲申込み先 市役所総務部秘書課（☎③2111 内線408）

早朝ソフト大会 参加チーム募集

第9回早朝ソフトボール大会の参加チームを募集します。

▲資格 市内在住者、または市内の事業所、官公署チーム

▲編成 1チーム25名以内として学生、生徒は除く

▲参加料 1チーム4,000円

※参加希望のチームは各町公民館にある申込書で協会事務局古賀常六氏（松島町☎③2393）へ提出。参加料は4月28日の監督会議（中央公民館）で徴収。

女性同士の旅に ナイスミディ旅行はいかが

フルムーン夫婦グリーンパスの特典を女性同士の旅にもと姉妹版「ナイスミディパス」が伊万里駅で発売されています。

△対象 30歳以上の女性で、2人以上旅行される場合

△料金 パスは2人用6万円、3人用9万円、全国の特急、急行のグリーン車が乗り放題

△有効期間 7月28日（連続4日）

※問い合わせ 伊万里駅（☎②3046）
同駅営業センター（☎②3800）

危険物取扱者試験

昭和58年度第1回危険物取扱者試験（乙、丙種）が5月22日（日）佐賀西高等学校で実施されます。

▲願書受付 4月7日～13日

▲申込み先

佐賀県消防防災課危険物係（☎④840 佐賀市城内1-1-59）

▲連絡先

市消防本部予防課危険物係
※願書は消防本部や各分署にあります。（☎③4311）

たこ 全国の凧を作ろう

全国各地にある凧を作りで楽しみ、各地で行われる凧上げ大会に参加してみませんか。

中央公民館では「凧づくり愛好会」の会員を募集しています。

凧づくりに興味のある人ならどなたでも、どしどしご応募ください。

▲日時 4月12日（火）18:00～20:00
第1回（毎月例会1回）

▲場所 中央公民館（☎②7105）
▲講師 日本凧の会田中秀雄氏

古文書学習のすすめ

市郷土研究会は、昭和51年から古文書研究会を開いています。

郷土に残されている貴重な古文書を平易に学習する研究会をあなたも受講してみませんか。

▲日時 毎月第2土曜（14:00～16:00）5月、8月は休み

第1回は4月9日から

▲会場 市中央公民館

▲講師 九州陶磁文化館

学芸課長前山博先生

▲料金 無料（テキスト代200円）

▲教材

永尾家所蔵「御山方日記」

▲申し込み 市立図書館内

郷土研究会事務局（☎②7105）



青えんぴつ

メダカの兄弟は川の中、大きくなったらなんになる、大きくなったらクジラに…スイサイ…とかわいい歌がはやっています。春の小川でメダカの行列を見つけると新入学1年生を思い出しますが、ドライバーの皆さん、通学に不慣れな子どもたちに気をつけて運転してくださいね。

大きくなったらクジラにならなくても、郷土を誇らしく思い郷土の誇りになるように大きな夢を持って育ってね。

郷土を愛するためには、愛される郷土をつくっていくことが私たちの務めだと思って、今月も広報いまりを送ります。

給食をありがとう



松浦小学校では、2月は給食ありがとうの月間。全校生徒が作文や図画、あこづかいをためて買った花などを集め、3月4日感謝の気持ちをこめて東部給食センターのおじさん、おばさんへあくりました。こどもたちの作文の一部と給食センターからのお礼の手紙をお知らせします。

ぼくらの手紙

「いつもおいしい給食をつくってくれてありがとう。きのうのやきそば、とってもおいしかったので5はいもおかわりしました。先生から『おなかが、いたくなるよ』といわれても食べました」 2年1組 山口大すけ
「クラスみんなで同じ物を食べるのがいい、お友だちの物がいいなー、なんて思わないでいいから、やっぱり給食はいいな」

3年2組 幸島えい子

「毎日いそがしそうですね。一番らくな日は何曜日ですか。すいませんが、ラーメンを作ってください。ギョーザでもいいです。」4年2組 中野ふみたか

「ぼくは、すききらいが家では多く、いつもやさいのこしていました。でも学校のごはんですききらいはあまりしなくなり

ました」4年2

組原政勝

「家にかえってお母さんやお父さんにきょうのおかげのことをはなします。おばさんたちがつくるものは大すきです。うちで食べないものもいっぱいあります」2年1組　ふじたにみやこ
「給食センターのみなさん、いつもおいしい給食、ありがとうございます。みんな楽しそうに『わーわー』いって食べています。勉強のあと給食は、とってもおいしいです。給食は、ぼくたちの命です。『給食を守る会』をつくろう。」4年2組　原口真一郎
「わたしたちは、わすれものをしなかった人だけおかわりできます。いっぱいいたべて早く大きくなりたいと思います。」

2年1組 なかしまゆみこ



▲調理室にはってある作品

センターのおばさん からのへんじ

松浦小学校のみなさん、花たばやお手紙などありがとう。思いがけないおくりものにおじさんやおばさんたち、ほんとうにうれしかったですよ。

お手紙の中に「家の料理よりも
ズーッとおいしい、どうして作
るんですか」とあり、少しほな
が高くなりました。でもおいし
い作り方なんてないんですよ。
ただみなさんに少しでもおいし
いものを、よろこんで食べても
らおうと作っているんです。

みなさんにはめても
らって、私たちもますます元気
がでます。これまで以上におい
しいものを作るよう、みんなで
がんばります。

でも食べ残しがあるときは、
ガッカリします。疲れが一度に
出る感じです。

みなさんもできるだけ好き好き
いをせずに食べてね。

花たばは、センターの真中に
絵や作文は、かべにはっています。
みんな、それをながめながら元
気でがんばっています。

みなさんも、もう進級ですね。
給食を楽しく食べて、元気なよい子になってくださいね。



▲感謝の気持ちをこめて「いただきま～す」